

平成 20 年 1 月 18 日 (金)

練馬区立関町小学校 1 年生 (4 クラス)



(財) 国際青少年育成振興財団
泉山 和光・大串 充

タイムテーブル

- 9 : 00 JR 高田馬場駅 早稲田口改札外に集合 (留学生 8 名と袖山さん)
10 : 00 関町小学校到着、待機
10 : 30 ~ 体育館で、1 年生 4 クラスに対して、(学校開放日で保護者も参観)
自国のことを留学生が国ごとに説明。

歓迎の言葉

- ①インドネシア 自国の言葉・気候・通貨
- ②タ イ 自国の言葉・挨拶・通貨
- ③サウジアラビア 自国の気候・風景
- ④ラオス 自国の風景・民族楽器(笛)

1 年生の為か、1 時間経過した頃には飽きだして落ち着きが無くなっていた。

- 11 : 40 ~ 各組に、各国がわかれ、その国の遊びを紹介

1 組 サウジアラビア

民族帽を使ったハンカチ落としのようなゲーム

2 組 タ イ

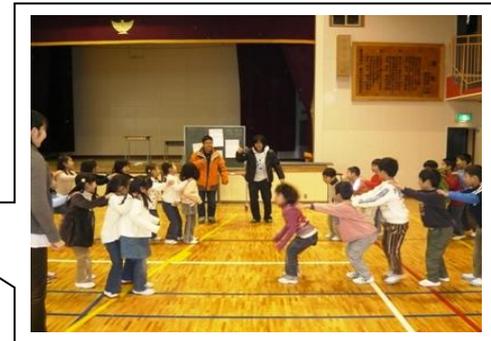
言われた数字で前後左右に跳んで、
じゃんけんをして負けた列の人が取られていく
(はないちもんめ的な)

3 組 インドネシア

親指・人差し指・小指のじゃんけん(指合わせ)

4 組 ラオス

民族楽器の演奏(弦楽器)



御礼の言葉

12:40～ 各組に分かれて、給食を一緒に食べる。

1組 サウジアラビア (マージド君・アブダッラー君) (袖山さん参加)

アブダッラー君は、(個人的に)断食のため給食を食べなかった。

2組 タイ (テムトライラット君・タンマモングッドさん)(泉山参加)

色々な児童から質問を受けて盛り上がった。

留学生が男女の為か、児童がバランスよく質問してくれた

3組 インドネシア (カルティカさん・タカジョウさん)

給食後、児童たちと遊びに行ってしまった。

4組 ラオス (サンニャー君・ビボ君)(大串参加)

14:00

留学生は、今日の感想を書き終了する。



担当者所感

財団法人 国際青少年育成振興財団
事務局 泉山

体育館は寒すぎた。休憩らしい休憩を入れず、トイレは申告制で行かせていたので、児童たちは大丈夫か?と思った。保護者が始めは 40 名近く体育館で見守っていたが、終わりの頃にはお昼時ということもあり 10 名くらいに減っていた。

今回協力してくれた留学生は、インドネシアは自費留学生でそれ以外は国費とのことで、大学受験が終わっている人も多かった。インドネシアは立命館大と中央大(又は法政大)、タイは京都大と東京工大、サウジアラビアは明海大と未定、ラオスは高専 3 年へ編入とのことであった。タイの二人は学力の高いのか上手に児童と触れ合っていた。

サウジアラビアのマージド君は、自国のことを伝えられることでお金は貰えないとの考えで活動費の受取はしなかった。

1 年生の児童たちは、恐怖心なく留学生と触れ合っていたのが印象的であった。

事務局 大串

留学生と触れ合って、文化や感覚の違いを感じました。時間に少しですが遅れたり、途中で誰にも何も言わずに子供達と遊びに行ってしまうたりと、時間やお金に対する感覚や団体での行動の仕方が日本人とは違いました。実際に話をしてもどこかゆとりが感じられ、日本人の切羽詰った感覚とは違いました。

また、準備の段階から実際に大勢の前で話をするまでの流れは、何をするのに同じで、事前に本番の流れや話す内容を決めていたようで、多少予定外のことはあったようですが、スムーズに進んでおり勉強になりました。